週刊 ビル経営　平成30年12月 3 日

SD建築企画研究所　東京都渋谷区

「第54回ＲＥＢ－1000社の会」開催

次の大地震は東京・神奈川・静岡東部！

代表取締役
清水　修司氏

先月27日、建築・不動産事業などを展開するＳＤ建築企画研究所（東京都渋谷区）代表取締役の清水修司氏が理事長を務める「第54回ＲＥＢ－１０００社の会（第54回不動産ビジネスの商機を拡大するセミナー＆情報交流会）」が、今回も「ＳＹＤホール」で開催された。

「ＲＥＢ－１０００社の会」は、建築・不動産事業者による勉強会や情報交換、業界内での人的交流の促進を目的とした会であり、年2～3回と定期的に開催されてきた。またセミナー講演は第1部、第2部と分かれており、第2部終了後は第3部として情報交流会が行われる。今回の第1部は「～不動産業界史上最年少で上場し、リーマンショックで民事再生、再度起業し成功したカリスマ企業家が語る！～『失敗から学び、成功につなぐ』」と題し、シーラホールディングス（東京都渋谷区）取締役会長の杉本宏之氏が登壇。自社保有・自社管理の不動産業と、狭小タイプのマンションを中心としたデベロッパー業を2本柱に「自分たちが安心するマンションを売る」を目標に展開してきたシーラホールディングスの杉本会長が、自身の過去の失敗談などを交えて自社の事業スキームなどを語った。

杉本氏は「賃貸経営を行うかたわら、不動産ベンチャーを対象としたベンチャー投資も積極的に行っております。不動産業及びシナジー効果の見込めるベンチャー企業への積極的な投資によって、経営指導や業務協力に繋げ、出資企業との新たな事業創造に繋がればと考えての取り組みです。また自身では『現場』を大事にしております。過去の失敗なども考慮した結果、迷った時の答えは現場にあると考え、どの様な物件だろうと販売前には一度下見に行くことを大事にしています」と語った。

また第2部では、昨年7月の同会に続き2度目の登壇となる東京大学名誉教授の村井俊治氏の講演が行われた。セミナーは「～地震的中率驚異の80％！熊本地震、北海道地震も的中の測量学の権威が語る！～『ＭＥＧＡ地震予測が示す次の危険地帯』」と題し、地殻を監視して地震を予測する地震予測情報の配信アプリ「ＭＥＧＡ地震予測」を活用しての次の危険地帯を発表した。

村井氏は教授職を務める傍ら、地震科学探査機構（東京都港区）の会長も務めており、「ＭＥＧＡ地震予測」の普及促進も行っている。これは国内１３００カ所以上に設置されたアンテナを利用し、地震前に異常に動く地質の情報から地震発生を予測したアプリで、非常に高い確率で地震の発生を予測できているのが特徴だ。

もちろん次の予想地域も指摘。首都圏における地震の発生は前回と同様強く警告し、事前に備える重要性も語った。村井氏は「東京・神奈川・静岡東部が現在最も危険な地域です。加えて、徳島を中心とした四国にも大地震の恐れが見られます。現在は日本のどこに居ても安全な地域はないほど危険な状態です。常日頃から備える意味も含めて、改めて『ＭＥＧＡ地震予測』の利用をしてみては如何か」と語った。

第2部終了後は今回も情報交流会が盛大に開催された。約２００人が参加した同会について清水氏は「今後も聴講者のニーズに応えたセミナーを企画してゆきます」と語った。